



Interactive Training in Communication-Japan

Volume 44 February 2026 No.2

目次

Table of Contents

| | | |
|--------------------|-------|--|
| 今期のテーマ 柔軟に進化 | 1 | 2025 - 2026 Theme Evolving with Flexibility |
| ITC-J 会長メッセージ | 2 | ITC-J President's Message |
| ITC-J 書記 | 3 | ITC-J Board Message |
| 委員会の活動 | 4~6 | Committee Activities |
| カウンスル第1回会合報告 | 7~10 | Council Meeting Report |
| ふるさと大阪 | 11~12 | Voices from Osaka : Our Hometown Stories |
| 年次大会日程一覧 | 13 | The 44 th Annual Conference Schedule |
| ITC-J 第44期年次大会ご案内 | 14 | Invitation to the 44 th Annual Conference |
| 大会準備委員会名簿 | 15 | Annual Conference Prep. Committee |
| 全体講演 | 16 | Plenary Lecture |
| 教育セッション一覧 5部門 | 17~19 | Education Sessions |
| 観光案内 | 20~21 | Information for Sightseeing |
| 晩餐会エンターテインメント案内 | | Banquet Entertainment |
| 第44期年次大会申込要領 | 22 | Guidelines for Registration |
| 申込書(表・裏) | 挟み込み | Application Form |
| 編集後記 スタッフロール | 裏表紙裏 | Editor's Note Staff roll |
| ITC-J 宣誓 ITC-J 声明文 | 裏表紙 | ITC-J Pledge & Mission Statement of ITC-J |

ITC-J 第44期 テーマ
2025-2026 ITC-J Theme



柔軟に進化

Evolving with Flexibility

ご挨拶

第44期会長 小八木 利子



新しい年を迎え、第44期も折り返し点を通過しました。全8カウンスルの第1回会合は、会員のITC-J愛と底力によってそれぞれの歴史と個性が光る素晴らしいものでした。創立以来の理念と目的を同じとしながら、カウンスルによって会則を定め、それぞれ多様に拡がり継続している様子に感動いたしました。高齢化、会員減少、物価高騰の共通の悩みを抱えつつも懸命に工夫されている真摯なお姿は、これまでの学びの成果だと心打たれました。

共に学び共に進む、個の力の充実が全体のパワーとなるITC-Jを維持するために、役員会も各委員会も今求められること、自分たちには何ができるだろうか、とそれぞれの目標と計画に向かって着実に活動しております。カウンスル会長会、会員委員会主催交流会、明日へのビジョン委員会ではコミュニケーションを学ぶ組織らしく意義ある意見交換ができました。少人数クラブ、ホームページ、会則、スピーチコンテストなどの問題点について対応していく所存です。明日に向かって変えねばならないこともあり、素敵な仲間の集まりのITC-Jが発展できるように進んでまいります。

年次大会は、年に一度の遠方の友や他カウンスル会員と再会できるコミュニケーションの場です。充実した時間を過ごしていただけるように役員会、大会準備委員会は準備に励み、一同こぞってお待ちしております。是非ともご参加ください。

(書記) 田島 久子 (会計) 西島 敏子 (議会法規役員) 葛谷 美紀子 (編集者) 鶴山 紀子 (JCLO) 小田 和子



(第一副会長) 岡島 詠子 (会長) 小八木 利子 (次期会長) 田中 英子 (第二副会長) 烏谷 まゆみ

カウンスル会長会報告

書記 田島 久子

12月2日（火）約2時間にわたり、Zoomによるカウンスル会長会が開催されました。

出席者の自己紹介に続き、各カウンスル会長から、今期方針、会合報告、現状報告と問題点の3件について報告がありました。役員から公式訪問の感想や気づきを述べ、その後、質疑応答・情報交換の時間を設け、各カウンスルの問題や悩みについて活発に意見交換が行われました。

各カウンスル共に情熱をもって工夫しながら活動されている状況が伝わりました。

<各カウンスル会長の報告から>

年間テーマには、各カウンスルの熱い想いが込められており、それぞれが抱える問題点の打開を目指して掲げられていました。テーマは、「ポジティブ 明るく 前向きに 楽しく」「Visionを持ちましょう!」「姿勢と品位 さすがITC-J!」「共に学ぶ～TED（共に情熱をもって献身しましょう）」「百花斉放」「Let's Enjoy」「伝統の相承～学び・礼儀・秩序・公正を更に深めて」「心をついに」です。

また、カウンスル運営にあたっては、目標を掲げたり、いろいろなことにチャレンジする場を設けたりと、会員が楽しく学べる工夫がなされていました。

いずれのカウンスルも、会員数の減少という厳しい状況にあります。会合や例会に参加できる会員数が減少すると、一人が担う役割が増えて負担が大きくなり、そのため一人一人の責任も増大します。会場運営やプログラムを工夫してカウンスル運営に携わってくださった会員からは、「大変でしたが、ITC-Jの未来に対する意識を高く持つことができました」の声をいただき、前向きに受け止めてくださっていることがよくわかりました。

<公式訪問者の感想>

会員高齢化や会場費の値上がり等を考慮し、プログラムを工夫したり会場の設えを手作りをしたりと心のこもった会合開催に向けて、カウンスル毎に様々な工夫されていました。いずれのカウンスルも個性を持って真摯に取り組まれており、今後に期待が持てました。

何より、様々なカウンスル会合に参加して全体を見ることの重要性を感じ、心揺さぶられることもあり、年齢を重ねても学び続けることの大切さを痛感しました。

少人数でもマンパワーの凄さに支えられ、会合を開催することはできます。しかし、一人2役も3役も兼任するとか、誰かが休むと代替りの人がいないという事態は問題です。本来のITC-Jの学びを実践していくために何をすべきなのか考えていきたいと思いました。

委員会の活動

会員委員会

第二副会長（会員委員長） 鳥谷 まゆみ

2025年9月30日（火）Zoomで「ITC-J会員委員会とカウンスル第二副会長との合同会議」を開催しました。目的は各カウンスル所属クラブの長所と改善点をカウンスル第二副会長に発表していただき、活動内容や悩みを共有することでした。参加者から忌憚のない意見が出て、実りある合同会議でした。会員獲得と大げさに考えるのではなく、そっと後押しする方法でITC-Jの魅力を広めていければと期待します。

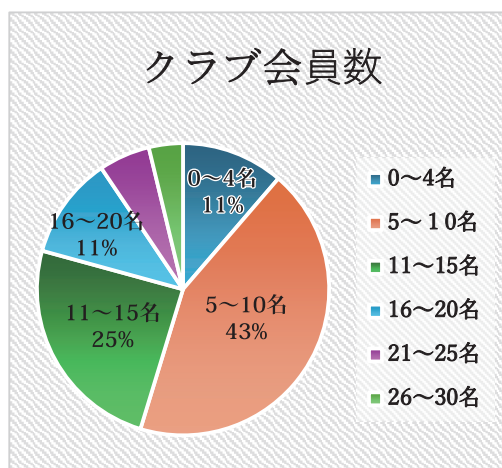
12月15日（月）には同じくZoomで「現状把握・そして今できること」をテーマに「会員交流会」を開催し、53クラブ中52クラブ、113名の会員が参加してくださいました。No.1 飛騨高山クラブ松井多美子会長、清水洋子第一副会長、No.4 安芸クラブ青木和恵会長、No.5 堺東クラブ長谷川充子会長、No.8 東葛クラブ藤原雅子会長に会員維持・増強のために工夫していることを発表していただきました。その後、バズセッションを行い、10名以下のクラブが半数もあるということを確認しました。今回の交流会で解決策を見出すまでには至りませんでした。会員個人がどのように行動するかを確認しました。そのために、宿題というプレゼントを参加者にお渡ししました。さて、どのような結果になるのでしょうか。

2026年3月24日（火）20:00～21:30 Zoomにて第2回交流会を開催する予定です。ゲストをお迎えできるような企画を考えています。多くの会員の皆様のご参加をお願いします。

会則・決議委員会

委員長 稲次 美子

ITC-Jは12月10日現在53クラブ、592名の会員。その内、会員数が10名以下のクラブは54%、15名以下は82%でした。（※円グラフ参照）これは会則・決議委員会として独自に調査したまとめで、想像以上に少人数クラブが多いことがわかりました。



少人数クラブへの提言

ぜひクラブ会則・細則を熟読してください。細則の修正は簡単です。前もって通知されている場合は、過半数で成立します。当日の審議であるなら、3分の2の賛成で可決します。

《 修正例 》

- ①例会回数・時間の見直し
- ②Zoom等Web会議システムを活用しての例会も一案です。

ご相談があれば、会則・決議委員会までご連絡ください。

教育資料委員会

委員長 讃井 良子

教育資料委員会として二つの目標を挙げ今期活動しています。

1. 少人数クラブでも活用でき、あまり準備を必要とせず例会当日に簡単に組み立てる教育資料、そして時間をかけ取り組む資料も作成するために委員会一同で活動しています。
2. 楽しみながら学んでいただけるように ITC-J 通信に「クイズ」を掲載しています。
皆様、クイズを楽しんでいますか？ 少しでも、会則や議事法、教育マニュアルをもっと身近に感じていただければ幸いです。
これまでのクイズを纏めてクラブ例会でプログラムとして活用したいというお声も聞こえてきました。楽しみながら学んでいただくことを願います。

国際交流委員会

－ Global Communicators の成り立ち－

委員長 高山 敦子

2023年、Margaret Sutherland が仲間と Chatroom で Global Communicators の原型を立ち上げ、それに故杉谷和代さん（当時イースト神戸クラブ）が参加し、日本とのかかわりを繋ぐための話し合いをしました。その結果、東京での年次大会でハイブリッドの英語のワークショップが第一歩として実現しました。対面での参加者30名（海外から6カ国11名）が将来の計画を話し合い、交流の継続を約束しました。それ以降、2023年10月22日、2024年1月21日、7月21日、2025年1月19日、4月27日、7月1日、9月28日と今までに7回、インターネットで Global Communicators のミーティングを行ってきました。

外国の元 ITC の仲間とは同じ教育機関で教育を受けてきた経験と友情を保ち、同窓生としてこれからも共に成長していきたいと願っています。元 ITC の会員であるという自覚と誇りを忘れず、国際との関係はこれからも Global Communicators という勉強会として学びの道を歩み続けてまいります。

スピーチコンテスト委員会

委員長 王 久美子

各クラブ、カウンスルのスピーチコンテスト委員会の皆様、それぞれのコンテストへ向けてご尽力されていることと存じます。

今期「スピーチコンテスト規則と任務」は2カ所の変更があります。

1. 規則の 7. 審査員 7.1. 会員、又は会員以外でもよい。その年度内に日本語の部、英語の部でそれぞれ一回ずつ審査員を務めることができる。
2. 規則の 11. 注意事項 11.2.1. スピーチ中の動画撮影は ITC-J レベルでのみ許可し、撮影はスピーカーの同意を得たうえで ITC-J が行う。

「スピーチコンテスト規則と任務」は、2025年11月11日に改正版をウェブサイトへアップしています。改正版に則ってコンテストに臨んでください。

年次大会のスピーチコンテストへ向けて、スピーカーの方々に気持ちよく楽しんで力を発揮していただけるよう努力してまいります。会員の皆様には、より一層のご協力、応援を賜りますようお願い申し上げます。



リーダー育成委員会

委員長 小菅 あけみ

9月から始まった「インストラクター集中講座」前半が12月で終わりました。前半受講者と、新たな後半講座参加者は、一緒に実践トレーニングを1月から始めました。

4～5人のチームで課題ごとの発表を行い、参加者からのコメントをチャットで受けたり、画面共有、ブレイクアウトルーム、スピーカーの大写しなどのスキルを駆使して挑戦しています。

万うまくいかない場合でも、落ち着いて対処する方法を体験します。

講義する側も受ける側も共に学び合うトレーニングです。この集中講座は3月で終了し、新しいリーダーの誕生が期待されます。



明日へのビジョン委員会

委員長 加藤 正枝

2025年10月9日、大阪に於いて委員会を開催しました。ITC-J 役員会より小八木利子会長、田中英子次期会長がご出席くださり、8カウンスルより一人ずつの委員全員が出席でした。

1. 所属カウンスルの現状
2. 所属クラブの現状と特徴とあれば問題点、クラブの工夫や取り組みなど
3. ITC-Jについて希望、その他

について発表し、その後意見交換をしながら、話し合いを進めました。

会員減少と高齢化はすべてのクラブにおける ITC-J の現状です。どのクラブもこの事実に向き合い、マイナスととらえるのではなく、会員の学びに対する思いを大切に工夫し、対応していました。Zoom やウェブを上手に利用していました。どのクラブもカウンスルも会員減少に対応したプログラムの工夫がされていました。

会則とスピーチコンテスト、ホームページについて意見が出ました。

会則については現在の会則は会員数30人を基準にしているので、少人数化が進む現在、見直しを行う時期ではないだろうか？

スピーチコンテストについては、クラブではコンテストではなくデモンストレーション形式が多くなってきています。現在の「スピーチコンテストの規則と任務」はコンテスト形式を対象としているので、デモンストレーション形式を対象としたものがあればよいのではないかという意見が出ました。カウンスルによっては、所属クラブすべてからコンテスト参加できないという現状もありました。

またホームページにつきましては、ウイルス対策などセキュリティについてのご意見や、現在2つあるホームページを一つにできたらというご意見がありました。

対面での委員会はあっという間の4時間でした。ITC-J に対する委員のみなさんがお互いの熱い思いを直接感じ、ITC-J のすべての会員のみなさまとのご縁と学びへの真摯な姿勢を感じた時間でした。大切にすべきもの、変える必要のあるものを見極めて、より深い学びができる組織としてつながっていくことができればと思います。

カウンスル第1回会合報告

Council No.1 「短歌を楽しむ」

第一副会長 柴田 淑子

カウンスル No.1 第1回会合は2025年10月29日（水）名古屋東急ホテルで開催しました。出席者はゲスト・講師を含めて89名でした。プログラムは熱田神宮献詠祭選者でもいらっしゃる田中仁巳講師をお迎えして「短歌を楽しむ」というテーマで行われました。



前半は、講師による講演で短歌の歴史や、講師ご自身の身近な事を題材に詠まれた短歌をボードに掲示し説明して下さり、また、歌人の短歌の鑑賞がありました。

後半は歌会で、出席者それぞれが短歌を詠み、テーブル毎にテーブルリーダーを中心に話し合っ
て一首を選び短冊に書きました。講師はテーブルを回ってアドバイスをしてくださり、10テーブルから選ばれた短歌は壇上で披露され、歌会の最後にそれぞれの短歌に対する歌評を伺いました。

出席者の皆様がプログラムを楽しみ、短歌を身近に感じて令和の歌人になっていただけたのではないかと
思っております。皆様に感謝しております。



Council No.2 「弓張美季と音の世界」～ピアノとおしゃべり～

第一副会長 梶木 博子

カウンスル No.2 第1回会合は11月12日（水）神戸ポートピアホテルで開催、出席者はゲスト講師を含めて86名でした。プログラムは神戸生まれベルリン在住のピアニスト弓張美季氏をお迎えして、タイトル通りの弓張氏の音の世界へと誘われ豊かな時間を共有しました。



プログラムの前半は、昨秋サントリーホールなどで演奏された中から数曲をトークを交え聴かせていただきました。弓張氏はピアニストとしての姿勢について、作曲家ゆかりの地を訪れて歴史的背景を知り、作曲家の想いや感覚に共感しながら大切に音を再現し、聴衆に伝える役目であると話されました。

演奏は、まずウイーンで育った謙虚で誠実な人柄のシューベルトの作品2曲を繊細に情緒豊かに披露され、後半はクラシックの世界から対照的なジャズの世界へ、フリードリヒ・グルダの曲をエネルギッシュに表現されました。

プログラムの最後は会員2名によるインタビューで、弓張氏が13歳の時から家族から離れてひとり、ドイツ、イギリスメニューイン音楽院、ニューヨークジュリアード音楽院、ロシア、ウイーンなど様々な国で過ごしたこと、それぞれの国の文化にふれた経験や独特の文化マナー、ドレス



コードの違いについてもお話されました。幼くして単身で海外で暮らすことを決めたご本人の覚悟とその選択を信じて託したご両親の愛ある決断が、今日の弓張氏を形づくった原点であることに感動しました。会員を魅了したお話は自己表現に優れ、コミュニケーション力の高さがうかがえる学びの多い90分でした。

Council No.3 「認知症は予防できる」

会長 赤松 奈緒子

カウンスル No.3 第45期は、キンモクセイが香る爽やかな秋晴れの日には第1回会合を迎えました。来賓とお客で25名の方にご出席いただき、お陰様で活気ある会合になりましたことを感謝いたします。

プログラムは、国立循環器病研究センター医長 田中智貴先生の「認知症は予防できる」というテーマでの素晴らしい講演の後、質問タイムとテーブルごとのバズセッションを行ないました。質問タイムでは活発に質問が出されて時間が足りないほどでした。講演の感想と認知症について日頃から思っていることなどを話し合うというバズセッションは、テーブルごとに意見交換を行い、その後の代表者による発表も優れていて、参加型のプログラムとして大変有意義な時間を過ごすことができたと思っています。

2回目の会合は2026年5月29日（金）に開催の予定です。興味深いプログラムを考えていますので、皆様ご参加いただきますようお願い申し上げます。



まとめ
脳卒中と認知症の関連は強く
生活習慣の改善は認知症予防に繋がる。
元気な高齢者に
生きがいを探して、能動的な生活を！



Council No.4 名画に出会う午後

第一副会長 原 順子

カウンスル No.4 第38期第1回会合は2025年11月18日（火）倉敷国際ホテルにおいて参加者85名で開催されました。会長テーマ「共に学ぶ」会合テーマ「語らい」のもと沖田道子会長の開会宣言により始められました。

倉敷といえば大原家です。大原芸術財団代表 元 ITC 会員大原あかね様に講演『時間を越えたコミュニケーション 作品は時代の生き証人』をお願いいたしました。そして教育は大原美術館所蔵で60年ぶりの修復が完了したエル・グレコの“受胎告知”の解説を大原芸術財団研究部部长 孝岡睦子（たかおかちかこ）様をお願いいたしました。会員にとっても意義深く心に残る会合となりました。会合後56名の方が美術館を鑑賞され（チケットを用意させていただきました）倉敷の地を存分に楽しんでいただけたことと思います。極めつけは会員の涙をさそったクロージングソートです。クロージングソートの大切さを思い知らされました。

「ありがとう。また語らいましょう。人生という名の美しい風景を共に描いて行くために」
（クロージングソートより抜粋）



トークタイム



大原芸術財団代表 大原あかね様



同 研究部部长 孝岡睦子様

Council No.5 「スーパー二胡リサイタル」 & 「童謡替え歌合戦」 会長 本田 光代

プログラムの一つ目は「東洋と西洋の出会い★スーパー二胡リサイタル」と題して、二胡は許可様、そしてピアノは鈴木真貴子様で素晴らしい演奏を聴かせていただきました。曲目はモンティ「チャルダッシュ」、ショパン「夜想曲第20番」、クライスラー「愛の悲しみ」、サラサーテ「ツィゴイネルワイゼン」、許可/王建民編「風韻」、山田耕作/奥定美和「故郷」、そしてアンコールに「熊蜂は飛ぶ」、許可様の二胡の超絶技巧に会場は拍手の嵐となりました。

二つ目は全員参加型のワークショップ「童謡替え歌合戦」です。8テーブルに分かれた会員とゲスト8名がチームになり、テーブルリーダーが「ぞうさん」「もみじ」「赤とんぼ」など8曲の童謡をくじで引き、当たった童謡をお題としてチーム全員で知恵を出し合い、替え歌を作ります。出来上がった替え歌はテーブル全員で披露します。伴奏はウクレレ奏者松代裕子様をお願いしました。

優勝テーブルを拍手の大きさに決める予定でいしましたが、さすがITC-Jです。ご自身のテーブルに拍手されます（笑）。結局、勝負がつかずジャンケンとなりました。

迫力のある演奏と和やかなコミュニケーションで成り立った素晴らしいプログラムでした。



二胡奏者 許可氏



替え歌考え中



替え歌発表 さて優勝テーブルは？

Council No.6 パペット落語で Let's enjoy !

会長 中島 寛貴

本会合では、プロの落語家 ばふく亭笑香氏をお招きし、「パペット落語」をご披露いただきました。人形を使った視覚的にも楽しい落語は、「落語をもっと気楽に楽しんでほしい」「子どもにも笑ってほしい」という想いが込められており、今期テーマ「Let's enjoy」、会合テーマ「笑門来福」にふさわしい、終始笑顔あふれるプログラムとなりました。

演目は「狸札」「里帰り」。参加者の年齢層に配慮したマクラでは、身近な詐欺の話題も交えられ、会場は大いに引き込まれていました。落語後の質疑応答では多くの質問や感想が飛び交い、参加者一人ひとりが楽しみながら関心を深めている様子が印象的でした。会合全体の雰囲気も非常に和やかで、リラックスした中で交流を楽しまれており、仕事の合間を縫って参加された男性会員の姿も見られました。閉会にあたり、ITC-J会長の「皆で笑って」という言葉が、心温まる余韻を残す締めくくりとなりました。



ばふく亭笑香氏



笑う門には福来たる

Council No.7 「 学びを深める 」

第一副会長 瀧本 京子

2025年11月6日 ANA クラウンプラザホテル米子において第1回会合を開催しました。派遣員説明会を滞りなく終え、ビジネスは柴田久実子会長の議事進行により粛々と行われました。

プログラムでは会合テーマ「学びを深める」に沿って「新しい時代の美術館とは？～その役割と楽しみ方～」として、鳥取県立美術館学芸課長三浦努様に講演とワークショップを行っていただきました。個々に情報発信ができ、多様な価値観がある、現代の美術館の役割と美術に求められるプラスαについての興味深いお話をお聞きしました。ワークショップでは、絵画の作品画像を鑑賞し、印象を自由に話し合う対話型鑑賞を取り入れ平和的議論のツールとして、美術を通してのコミュニケーションを体感しました。それぞれの見方、発想を知ることで会員同士楽しい発見の場となりました。



絵画鑑賞とディスカッション・会員発表

Council No.8 「 手話を学ぶ 」

第一副会長 橋爪 明子

カウンスル No.8 第1回会合のプログラムは「手話」に焦点を当て、講演会を行いました。手話通訳者を招き、手話とは何かをご講演いただき、後半では講師の指導の下、会員全員が実際に手話をやってみるという企画でした。企画の主旨は次のようなことです。ITC-Jは言葉でのコミュニケーションを訓練するが、言葉に寄らないものについても知識を深め理解しなければ、本当のコミュニケーションの意味が分からないのではないかと。幸い、会員で手話のできる者がおり、すぐ通訳者を紹介してもらいました。その会員をアドバイザーとして、プログラム委員会は具体的な内容を詰めていきました。

一番大事にしたことは単に手話について知るのではなく、どうしたら ITC-J の理念に手話を活かせるかということでしたが、さすが ITC-J、これは大成功でした。というのは、会員が講師の説明を活かして、びっくりするような積極性を示し、快活に実技を披露したのです。

そして最後には、全員が「ITC-J 宣誓手話」を行って、会合を締め括りました。第一副会長として当初は、内心不安でしたが、本当に素晴らしいプログラムとなったことを皆様に感謝しております。



ITC-J 宣誓手話同時通訳



手話講演風景 1



手話講演風景 2

ふるさと大阪

懐かしい思い出

芦屋クラブ 赤松 奈緒子

今から15年ほど前、私は当時所属していた宝塚クラブの大塚勢津子さんと春江逸子さんの3人で大阪探訪をしていました。その中の「青山ビル」と「生國魂神社（イクタマジジヤ）の彦八まつり」を紹介いたします。

「青山ビル」：大正10年大阪伏見町に建てられたスパニッシュ風建築としてステンドグラスの窓が美しい地下1階地上3階の建物で、昭和22年に青山喜一氏が譲り受け5階建に増築して屋上庭園も造り、青山ビルと命名しました。外壁には甲子園から株分けをしてもらった蔦が張り巡らされ、春になると緑のビルになります。平成9年に国の登録有形文化財に指定されたこのビルは、宝塚クラブ会員青山敬子さんのご子息青山修司氏がオーナーです。レストランなどテナントが入っており見学もできます。一度訪れてみては如何でしょう。

「生國魂神社の彦八まつり」：天王寺区の生國魂神社では、毎年5月に落語家たちによる「彦八まつり」が開かれています。落語を聞いたり演芸を観たり、有名な落語家が屋台を出して接客もしてくれます。童心に帰って金魚すくいをして、小さなビニール袋に入った金魚を手にとらさげたまま、鶴橋の焼き肉店「鶴一本店」に行ったのも懐かしい思い出です。

チンチン電車の思い出

堺東クラブ 長谷川 充子

大阪の南部、あべのハルカスの横を南へ走る路面電車（通称チンチン電車）は、今も府民の足として活躍しています。大阪で育った私にとって、この電車は特別な思い出のある乗物なのです。

混雑する車を縫うように進む上町線は、帝塚山や住吉といった下町情緒あふれる住宅街を抜け、やがて阪堺線となって、堺の市街地へと入って行きます。結婚当初、堺の宿院で過ごした私は、街中を走るチンチン電車の姿にとっても癒やされたものです。

堺は歴史的にも古い街で、今はその宿院に千利休と与謝野晶子にゆかりのある『さかい利晶の杜』が出来、沿線には『鉄砲鍛冶屋敷』『刃物伝承館』『ザビエル公園』『妙国寺』など多くの見どころがあります。又、けし餅やくるみ餅、大鏡といった老舗和菓子店が軒を連ね、街の魅力を更に引き立てています。

実は、昔は上町線と阪堺線に加え、途中から東へ延びる平野線もありました。中学時代、そのチンチン電車で通学したのも懐かしい思い出です。平野線は昭和55年に廃線となり、今ではその路線の下には地下鉄谷町線が、上には阪神高速松原線が走っています。

あの頃ののどかな風景を懐かしむこの頃です。



堺を走るチンチン電車



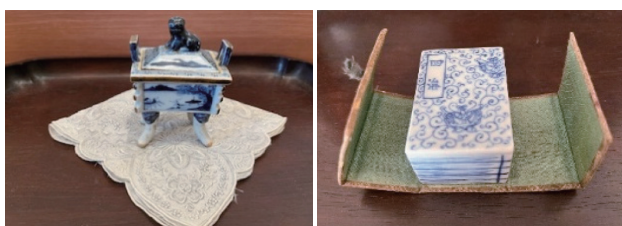
通学で乗降した平野線田辺駅

私のふるさととは大阪府堺市です。堺と言えば『仁徳天皇陵古墳』『千家の祖千利休』『刃物』を思い浮かべる方が多いと思います。その他に、堺は『香道の街』でもあることをご存じでしょうか？

厳かな香道は、茶道華道に並ぶ日本伝統三道の一つです。南蛮貿易の時代から、原木や香木などがもたらされ、中国伝来の線香が、職人たちの切磋琢磨により日本の“香りの芸術品”として受け継がれています。上品で透き通った香り、まろやかでやさしい香り、その調合は家伝として今も守られ続け、仏事用だけでなく香りブームのなか癒しの香りとしても注目されています。



お香を扱っていた家に育った関係で、家にはいつもお香の香りが漂っていました。『沈香屋和平衛』と呼ばれていた祖父を中心に人々が集まり、父、叔父たちもお香を聞き、時には謡曲を謡い、漢詩を朗読し、又、心豊かに茶の湯を楽しみ、ゆったりとした芳醇なひとときを過ごしていた姿を懐かしく思い出し、どれも受け継がなかった自分自身を恥ずかしく思っています。



祖父から譲り受けた香合

「ものの始まりなんでも堺」と謳われるように、新しいものを取り入れる気風や柔軟さを持ち合わせ、宣教師ザビエルは「東洋のベニス」と絶賛。現在でも刃物（プロが使用する包丁の8割を占める）・自転車（国産自転車の4割を占める）などの匠の技は世界に誇れるものです。豊かな歴史文化資源に囲まれ地域資源を生かして魅力を磨き、結び、育てる、常に時代の先を見据えて新たに挑戦するその精神は、日本でも類いまれな堺の歴史文化として、今に受け継がれています。

堺の今は、全ての人々が安全・快適に移動できることの実現を目指しています。大道筋を「歴史軸」、大小路筋を「未来軸」として道路空間のにぎわいを創出し、自動運転バスの実証実験を実施するなどの取組を全国に先駆けて行う予定で、脱炭素化の推進、ゼロカーボンシティの先導をめざすなど、さらに魅力ある都心部にしたい、これが堺の「未来へのビジョン」を示すプロジェクトです。



参考資料 堺市 HP より

いかがですか？一度機会があれば是非「文化の街・ええとこ 堺」をお訪ねください。

会報 No.1 No.2において、5名の方にそれぞれの「ふるさと大阪」を語っていただきました。大阪の中心部はよく知られていますが、池田市、岸和田市、天王寺区、堺市には知っているようで知らなかった物語や風景があり、また、お一人おひとりの思い出や暮らしが重なり、大阪の奥行きを感じることが出来ました。この特集が皆さまの心に新しい景色をひらく小さなきっかけとなることを願っています。

年次大会のページ

年次大会が近づいてまいりました。前日の観光とお食事、全体講演、教育セッション、エンターテインメントなどお楽しみいただけるものばかりです。22ページの申込要領をよくお読みになってお申し込みください。皆さまと会場でお目にかかれることを楽しみにしております。

ITC-J 第44期 年次大会日程一覧

The 44th ITC-J Annual Conference Schedule at a Glance

大会一日目 7月8日(水) Day 1 July 8 (Wed.)

| | | |
|-------------|---------------|-----------------------------------|
| 8:30～ 9:50 | 会員登録受付 | Registration for Members |
| 8:30～ 8:50 | 派遣員登録受付 | Registration for Delegates |
| 9:00～ 9:40 | 派遣員説明会 | Briefing for Delegates |
| 10:00～10:45 | 開 会 式 | Opening Ceremony |
| 10:50～11:55 | 議事会議・選挙 | Business Session / Election |
| 12:00～13:00 | 昼 食 | Lunch |
| 12:10～13:00 | 登録受付(会員・ゲスト) | Registration for Members & Guests |
| 13:10～14:45 | 講 演 | Plenary Lecture |
| 15:10～16:40 | スピーチコンテスト(英語) | Speech Contest (English) |
| 17:30～17:50 | 晩餐会受付 | Registration for Banquet |
| 18:00 | 晩餐会開会 | Opening |
| 18:10 | 表 彰 式 | Commendation Ceremony |
| 19:40 | 役員就任式(退任式) | Installation |
| 20:10 | エンターテインメント | Entertainment |
| 21:00 | 閉 会 | Adjournment |

大会二日目 7月9日(木) Day 2 July 9 (Thu.)

| | | |
|-------------|-----------------|---|
| 8:30～ 8:50 | 会員登録受付 | Registration for Members |
| 8:30～ 8:50 | 派遣員登録受付 | Registration for Delegates |
| 9:00～ 9:55 | 議 事 会 議 | Business Session |
| 10:20～11:50 | 教育セッション 5部門 | Education Sessions |
| 12:00～12:50 | 昼 食 | Lunch |
| 13:00～15:00 | スピーチコンテスト(日本語) | Speech Contest (Japanese) |
| 15:05 | 閉 会 式 次回大会案内 | Closing Ceremony Invitation to the 45th Conference |
| 15:20 | 閉 会 | Adjournment |
| 15:40～17:10 | C M T | Council Management Training |

ITC-J 第44期年次大会ご案内

大会テーマ「ごきげんさん」

開催日：2026年7月8日(水)・9日(木)

会 場：ホテル日航大阪

〒542-0086

大阪府中央区西心斎橋1-3-3

TEL 06-6244-1111



| | |
|----------|--------------|
| 大会準備委員長 | 田中 和美 (5 大阪) |
| 大会準備副委員長 | 中村 朱李 (5 千里) |
| | 柴田 裕美 (5 千里) |

ITC-J 第44期年次大会は「2025年大阪関西万博」で大いに盛り上がりを見せた大阪の地で開催されます。場所は御堂筋のど真ん中でおしゃれなブランドショップが立ち並ぶ心斎橋にあるホテル日航大阪です。大阪には万博閉幕後もインバウンドの影響で世界各地からの観光客が訪れ、賑わいを見せています。その賑わいにも増して7月8日、9日には、全国から集まったITC-J会員の「ごきげんさん！ごきげんさん！」という挨拶が響き渡ることでしょう。

年に一度、全国各地からの友との出会い、魅力的な講演や興味深い教育との出会いに大いに期待が高まります。

大会前日7月7日には、上方落語の定席「天満天神繁盛亭」での落語観賞や大阪のお笑いの殿堂「なんばグランド花月」での漫才、吉本新喜劇観賞など「なにわの文化」をお楽しみいただいた後に、由緒ある料亭でのお食事に舌鼓を打っていただけることでしょう。

大会準備委員会は全国からお越しの皆さまに寛いでいただける心地の良い学びの場を提供できますようにと一生懸命準備を進めております。皆さまのお越しを心よりお待ち申し上げます。

年次大会 大会準備委員会名簿

大会準備委員長 田中 和美 (5 大阪)
 大会準備副委員長 柴田 裕美 (5 千里)
 大会準備副委員長 中村 朱李 (5 千里)

| 委員会 | 委員長 | 委員 |
|------------|----------------------------|--|
| 大会会計 | 井上 純子 (5 千里) | 谷間のり子 (5 千里) |
| 登録 | 濱田 寛子 (1 栄) | 新城久美子 (1 名城) |
| 食事 | 段 紅子 (5 大阪) | 横山 末子 (2 六甲・3 クリスタル神戸) 本田 裕子 (5 大阪) 菰田 真理 (5 大阪) 野村 翠子 (5 大阪) 木下美智子 (5 南大阪) |
| 宿泊 | 堤 其美子 (5 千里) | 宮武 和美 (5 千里) |
| 会場・備品 | 松崎 智子 (5 北大阪) | 山崎 眞知 (2 三田) 安橋 佳子 (5 千里) 辰巳 信子 (5 千里) |
| デコレーション | 林 美代子 (5 千里) | 正明 裕子 (2 御影) 福井 晴美 (5 南大阪) 谷間のり子 (5 千里) 寺内伊久子 (5 千里) |
| キット・名札・リボン | 赤松奈緒子 (3 芦屋) | 大谷差智子 (2 神戸・阪神) 山中 恵枝 (3 芦屋) 筆本美智子 (2 イースト神戸) 奥澤 節子 (3 クリスタル神戸・川西) |
| 儀典 | 立花 典子 (3 しらさぎ・クリスタル神戸) | 酢谷 道子 (2 甲南) 津田 由貴 (3 西宮) 布野 泰子 (7 出雲) 景山 良子 (7 出雲) 楠 智加子 (7 出雲) 都間ゆかり (7 出雲) |
| V I P 接待 | 豊川三千代 (5 城北・6 平安) | 筆本美智子 (2 イースト神戸) 松本 敬 (5 大阪) |
| インフォメーション | 原田かおる (7 米子マンデー) | 則武 紀子 (5 大阪) 平田 恵 (5 南大阪) 棚田 順子 (5 南大阪) |
| 観光・広報 | 佃 眞夕美 (3 しらさぎ) | 後藤 英子 (3 姫路) 立岡 幸子 (5 南大阪) 山下よし子 (5 南大阪) 田岡批呂子 (無所属) |
| ページ | 森岡 令子 (3 クリスタル神戸・ポート神戸) | 小松利香子 (3クリスタル神戸) 清水 貴子 (3クリスタル神戸) 山崎津多子 (3クリスタル神戸) 阿部 増江 (5 眉山) 早川 由美 (5 眉山) 稲室 恵理 (5 眉山) 熊谷 和代 (5 眉山) 山口久美子 (8 葦崎) |
| 受付 | 善塔貴美子 (2 阪神) | 横地田鶴子 (1 栄) 木下恵美子 (2 阪神) 若林 裕子 (2 甲南) 角田 亘子 (2 御影) 坂本 純代 (5 大阪) 代田有祐美 (5 南大阪) 淵上 智代 (5 南大阪) |
| エンターテインメント | 橋本 榮子 (5 大阪) | 本田 光代 (5 大阪) 島 百利 (5 大阪) |

ITC-J 第44期 年次大会プログラムののご案内



講演

2026年7月8日（水）

13:10～14:45

講師：岸本葉子氏

エッセイスト

日本文芸家協会会員

演題：思い出に光を当てる ―自分のことを言葉にする―

「自分のことを書いてみたいけれど、書くことなんてあるのかどうか」「自分の思いを話したいけれど、どうすれば伝わりやすくなるか」という迷いや悩みをよく聞きます。誰の中にも思い出が埋まっています。人生そのものが題材の宝庫です、私の主な仕事のエッセイは、体験を例にとり感じ考えたことを文章にするものです。題材にする体験の取り出し方、文章（話）の組み立て方、言葉の選び方を日々試行錯誤しています。ラジオの仕事では、耳で聞いてわかりやすくなるよう模索してきました。書くと話すとの違いはありますが、言葉にして伝える点は共通です。私のしている工夫と、言葉にすることで心に起きる変化をお話しします。皆さまの思い出は光を当てられるのを待っています。

プロフィール

1961年、神奈川県鎌倉市生まれ。東京大学教養学部関連社会科学科卒業後、身の回りの出来事を題材にエッセイを発表。40代でがん、50代で介護を経験しつつ執筆。俳句や小説にもジャンルを広げ、言葉で作品を組み立てる活動を続けている。文筆活動のかたわら、テレビ「NHK俳句」に7年、NHK「ラジオ深夜便」に6年間出演し、話して伝える経験を重ねてきた。著書は『自分のことを書いてみる「人生で大切なことに気づく」ための文章術』（アスコム）、『エッセイの書き方』（中公文庫）、『NHK俳句「岸本葉子の俳句の学び方」』（NHK出版）『おひとりシニア、練習中』（中央公論新社）など多数。

教育セッション一覧

A

文楽の魅力



桐竹 勘十郎 氏

プロフィール

二代目桐竹勘十郎の子として大阪市に生まれる。1967年文楽協会人形部研究生となり（14歳）、三代目吉田簀助に師事し吉田簀太郎を名乗り、1968年4月に大阪毎日ホールで初舞台。師匠から女方の芸、父から立役の芸を学んだ。2003年、父の名を継いで三代目勘十郎を襲名。2008年、芸術選奨文部科学大臣賞受賞、紫綬褒章受章。2010年5月に日本芸術院賞受賞。2012年に大阪文化賞受賞。2013年4月より京都文教大学客員教授。2016年毎日芸術賞受賞。2021年、重要無形文化財保持者・人形浄瑠璃文楽人形の各個認定（人間国宝）に認定される。2025年3月日本芸術院会員。姉は女優の三林京子。

講座内容

文楽は、江戸時代に大坂で生まれ、今日まで脈々と受け継がれてきた日本を代表する伝統芸能の一つです。ユネスコ無形文化遺産にも登録されている人形浄瑠璃文楽は、時には人が演じる以上に心を揺さぶる魅力を持っています。その舞台では、人形は単なる「物」ではなく、人の心を映す「鏡」として存在します。三世桐竹勘十郎氏に、「文楽における三業（太夫・三味線・人形）の役割」「文楽における人間表現の美学」「現代における伝統の意味」など、短い実演も交え、幅広く文楽の魅力をお話しいたします。

B

意外と知らない天気のコツ



垂水 千佳 氏

プロフィール

気象予報士 / 防災士

福岡県北九州市出身。慶應義塾大学文学部を卒業後、NHK北九州局、NHK神戸局のニュース番組を務める。2018年からはNHK大阪放送局で気象予報士として出演中。現在、平日はほっと関西（午後6時10分～午後7時）の気象情報、土曜はウィークエンド関西（午前7時半～午前8時）の番組キャスターと気象情報を担当。春風のように暖かく、秋空のようにさわやかに、たまにだじゃれ寒気が南下しながら明るく楽しい気象コーナーをお届けしています。

講座内容

天気予報をスマホで確認して雨は降らないと思っていたのに降られてしまった！なんてことはありませんか？実は、毎日見ているはずの天気予報には意外と知らない秘密があるんです。天気の見方のコツを伝授します。

さらに、そんな雨を表す言葉を皆さんはいくつ知っていますか？日本語には雨にまつわる言葉が数百もあると言われていて、降り方や季節に合わせた表現、さらに1年に1日しか使えない雨の言葉も！四季の天気を彩る天気まつわる言葉たちもご紹介します。

これを知れば明日からがもっと豊かになる。空を見上げたくなる。そして誰かに話したくなる。気象キャスターだから知っている天気のコツや豆知識を、クイズをまじえながら楽しくお届けします。

教育セッション一覧

C ズボラさんでも大丈夫 ～花鳥風月 心満たされる宿根草ガーデニング～



柵山 直之 氏

プロフィール

ガーデンデザイナー / 有限会社メイガーデンズ代表取締役 / 1級造園
施工管理技士 / NPO 日本オーガニックガーデン協会理事 / 第2回東京
パークガーデンアワードファイナリスト

長野県松本市生まれ 三重県菰野町在住、御在所岳の麓菰野町に庭を
つくりそこで暮らしながら、東海地区で幅広く庭づくりを行う。宿根
草を取り入れた雑草や虫も楽しむワイルドな庭を提唱。イベント主催、
空間演出、アート制作、まちづくりなど活動は多岐にわたる。落ち葉
アートをはじめとするランドアーティストとして数々のメディアに取り
上げられる。

講座内容

四季折々の植物とともに暮らすことへの関心が、近年高まりつつあります。庭もまた、眺めるだけの場所から、過ごし、育て、日々の暮らしに活かす空間へと変化しています。しかし、「ズボラな私にもできるのでしょうか？」という声を多く耳にします。ガーデニングには手間がかかるという先入観があるからでしょう。けれども、私の庭は昨年一年間、一度もホースで水を与えていません。街路樹や山の草木と同じように、自然の循環に委ねています。本講座では、細かな管理に縛られず、変化を愉しむ「宿根草の庭」を通して、草木や生き物に囲まれた豊かな暮らしをご紹介します。

D そのクリック大丈夫？ —デジタル新時代の歩き方



カウンスル No.1
名古屋クラブ会員

加藤 玲子会員

プロフィール

(有)加藤寿エンタープライズ代表取締役。

1977年に TK-80に出会い、1980年 PC-8001を購入して3年半ほどパソコンの勉強に没頭。結婚、出産、育児、介護のため暫くお休みしたが1987年にパソコン通信を行いたくて PC-9801を購入し復活。1989年頃からは別の業務のために設立していた自分の会社で、パソコンの組立と販売、サポートの仕事をした。1994年頃からはインターネットも始めネットワーク関連の仕事も行うようになって今に至る。

会員歴28年

講座内容

巧妙化する詐欺メールや AI 悪用から身を守る方法、偽サイトの見分け方、だまされないネット通販術、ID パスワードの管理からデジタル遺産への備えなどのデジタル護身術、暮らしを豊かにしてくれる最新 AI、その怖くない付き合い方など Q&A を含めて行います。

E English Session を楽しむ



プロフィール

元 ITC 国際会長 (2009-2011)

現在 Cyber Club と Waverley Communication 重複会員

ビジネス経歴：広告会社 (Speakup) 経営37年

Coaching Communication Skills のトレーナー

Ms. Margaret Sutherland

講座内容

I have decided to do the two x 40 minutes sessions.

Session① Speaking cultures and Protocols

A look and discussion on the protocols and cultures in different parts of the world and how they can affect the way we treat each other. This session requires attendees input and, maybe, debate.

Session② Now, where did I put it ?

Do you sometimes walk into a room and think why did I come in here? Do you have trouble remembering names or what you were about to say? Forgetfulness is not always age/illness related. Let's share some "I forget" stories and I have some fun as we look at the other reasons for forgetfulness.

40分のセッションを2つ行います。

セッション① 文化とプロトコールについて

世界各地の慣習や文化、そしてそれらが私たちの互いへの接し方にどのような影響を与えるかについて考察し、議論します。このセッションでは参加者の意見や議論も必要とします。

セッション② さて、どこに置いたかな？

部屋に入ると「何でここに来たんだろう？」と悩むことは在りませんか？名前を思い出せなかったり、何を言おうとしていたか思い出せなかったりしませんか？物忘れは必ずしも年齢や病気のせいではありません。「忘れちゃうというエピソード」をシェアしながら物忘れの原因についても一緒に考えてみましょう。

ITC-J 第44期 年次大会 観光のご案内

日時：2026年7月7日（火）

一度は行きたい！「お笑い観賞と出汁香る懐石を楽しむツアー」

大阪のお笑い文化は、大阪を訪れる際には外せない魅力の一つです。ぜひ、本場のお笑いを体験して大阪の活気と笑いを満喫してください。また、大阪は「天下の台所」「食い倒れの街」と呼ばれ、出汁文化発祥の地。出汁にこだわる老舗料亭で伝統の味を楽しみます。「明るく」「楽しく」「わくわく」する大阪の魅力をぜひご体感ください。

Aコース「華やかな上方落語」天満天神繁昌亭・料亭花外楼（大坂城店）

13:30～13:45 ホテル日航大阪集合・出発

14:30～16:30 「華やかな上方落語」天満天神繁昌亭

大阪天満宮内に位置し、華やかな上方落語を楽しむならここ！戦前からの思いを継ぐ上方落語の定席。楽しめて、笑えて、ホッコリできる繁昌亭の魅力をご体験ください。



17:00～17:50 水上バス アクアライナー（区間乗船 25分間）

八軒家浜船着き場から大阪城港へ、船からの風景をお楽しみください。



18:00～20:00 料亭「花外楼・大坂城店」（ホテルニューオータニ）

「花外楼」は天保元年に創業し、明治8年、日本の立憲体制の礎となる「大阪会議」の舞台となった歴史的な料亭です。会議の成功を祝して木戸孝允（桂小五郎）が命名しました。格式高い老舗料亭で伝統の味を楽しみます。窓から見える大阪城の景色もお楽しみください。

20:00～20:30 ホテル日航大阪着

参加人数：定員25名限定 参加費：20,000円

Bコース「笑いの殿堂」なんばグランド花月・懐石「福吉兆」

13:30～13:45 ホテル日航大阪集合・出発

14:30～17:30 「笑いの殿堂」なんばグランド花月

吉本興業が誇るお笑い文化の拠点として、吉本新喜劇、漫才、落語など毎日さまざまな公演が行われています。

館内には大阪土産を購入できるショップや飲食店もあり充実しています。公演を見ながら飲食可能、持ち込み可能で、館内にタリーズコーヒー、肉吸うどん店「千とせ」別館、吉たこなどがあります。



18:00～20:00 日本料理・懐石「福吉兆」（中之島フェスティバルタワー）

「吉兆」創業者 湯木貞一の「世界の日本料理」「一期一会」の精神を引き継ぎ、四季折々の懐石料理を楽しめます。

20:00～20:30 ホテル日航大阪着

参加人数：定員35名限定 参加費：20,000円

Cコース「笑いの殿堂」なんばグランド花月 観覧のみ

14:00～17:30 現地集合、現地解散

参加人数：定員25名限定 参加費：6,000円

Aコース・Bコース・Cコースの申し込みについて

※3月10日(火)～3月17日(火)までに個人、又はグループでメールにてお申込みください。

※お申込み先：観光委員会 佃 眞夕美 tsukuda8565@gmail.com

後藤 英子 eiko510@ares.eonet.ne.jp

観光申込書にコース（Aコース・Bコース・Cコース）を選択し、氏名（ふりがな）・カウ
ンシル・クラブ・携帯番号・メールアドレスを明記の上、上記2名の両アドレスに同時に送
信してください。

観光申込書は3月1日発行 ITC-J 通信の添付として配信します。

※参加費の振り込みは5月中旬にご連絡します。

※キャンセル・変更については、6月10日(水)までをお願いします。

それ以降の返金は出来ません。

※お問い合わせ先：観光委員長 佃 眞夕美 tsukuda8565@gmail.com

TEL：090-7497-6060

※申し込みは受付順とし、募集人員に達した時点で締め切らせていただきます。

晚餐会 エンターテインメント

関西二期会オペラ歌手のミニミュージカル

7月8日(水)

楽曲：「サウンド・オブ・ミュージック」より“ひとりぼっちの羊飼い”

「マイ・フェア・レディ」より“踊り明かそう” “君住む街”

歌劇「トスカ」より“歌に生き恋に生き” ～他～



関西を起点としてオペラや声楽コンサートを中心に活動し、本年11月には
100回目のオペラ公演を迎える声楽家の団体です。魂を揺さぶる圧倒的な歌
声と華麗なるステージをお楽しみください。宴の席を彩る最高峰のヴォーカ
ル・パフォーマンスが、皆様を非日常の感動へと誘います。



ITC-J 第44期 年次大会申込要領



ITC-J 第44期年次大会申込書について

- 下記の役職のみ記載する。
ITC-J 役員・ITC-J 委員長・元 ITC-J 会長・元日本リージョン会長
各レベル会長・クラブ ITC-J 派遣員（代理）
- 重複会員は ITC-J 会費を納めているクラブで申込み登録する。
- 欠席者は欠席協力金を支払う。
- CMT のみ出席の会員について、登録費は不要、欠席協力金を支払う。
- 教育セッションは第1、第2希望を記入する。会場の状況により希望に沿えない場合もある。
- 昼食は、両日ともお弁当です。
- 晩餐会に出席の方で食物アレルギーのある方は、段紅子食事委員長に事前に連絡する。
- ゲスト登録費3,000円（晩餐会のみ出席の場合、登録費不要）
- 登録費・昼食費・晩餐会費・欠席協力金はクラブで纏め、大会会計へ送金する。

| | | |
|-------|-----------------|---------|
| 登録費 | 7月8日（水）・7月9日（木） | 12,000円 |
| 昼食費 | 7月8日（水）・7月9日（木） | 2,500円 |
| 晩餐会費 | 7月8日（水） | 13,000円 |
| 欠席協力金 | | 3,000円 |

ホテル宿泊について

- 宿泊費は各自支払う。
- 変更・キャンセル 4月24日（金）まで：各自、宿泊委員長に連絡する。
4月25日（土）以降：各自、直接ホテルに連絡する。
- キャンセルの場合：キャンセル料を各自支払う。
キャンセルポリシー

| | 予約解除の通知を受けた日 | | | | | | | |
|---------|--------------|------|------|------|------|------|------|-------|
| | 60日前 | 45日前 | 30日前 | 25日前 | 20日前 | 10日前 | 前日 | 当日・不泊 |
| ホテル日航 | 30% | 70% | | | 90% | 100% | 100% | 100% |
| ハートンホテル | | | | | 10% | 50% | 100% | 100% |
| ニューオオサカ | | 30% | 40% | 50% | | | 100% | 100% |

※%は宿泊料金に対するキャンセル料の比率です。

- チェックイン15:00、チェックアウト11:00

登録費・昼食費・晩餐会費・欠席協力金の申込期日

第1回締切日 2026年3月27日（金） 最終締切日 2026年5月13日（水）
 ※①第1回締切日を延期した。②5月14日（木）以降は取消しのみ受け付ける。

登録費・昼食費・晩餐会費・欠席協力金の送金期日

2026年5月14日（木）～ 5月21日（木）

※送金の際、5月13日の最終締切り時点での申込金を振り込んでください。（返金不可）

登録委員長：濱田 寛子（1 栄）Eメール cielclaire@sky.email.ne.jp TEL：090-7693-6011
 食事委員長：段 紅子（5大阪）Eメール bdan@kohmei.co.jp TEL：090-1446-6616
 宿泊委員長：堤 其美子（5千里）Eメール chacha2@tcct.zaq.ne.jp TEL：06-6855-7564
 大会会計：井上 純子（5千里）Eメール py081229@ares.eonet.ne.jp TEL：072-694-9166

ホテル日航大阪 TEL：06-6244-1111
 ハートンホテル心齋橋 TEL：06-6251-3711
 ニューオオサカホテル心齋橋 TEL：06-6121-5555

ITC-J 第44期年次大会申込書（会員用）

| | | | | |
|-----------|---------|-----------------|--------|---------|
| 会員名： | | 役職名： | | |
| | 月 日 | ○印 | 金額（円） | 申込金額（円） |
| 出席日及び登録費 | 7月8日（水） | | 12,000 | |
| | 7月9日（木） | | | |
| 昼 食 費 | 7月8日（水） | | 2,500 | |
| | 7月9日（木） | | 2,500 | |
| 晩 餐 会 費 | 7月8日（水） | | 13,000 | |
| 欠 席 協 力 金 | | | 3,000 | |
| 申 込 合 計 | | | | |
| 教育セッション | | 第1希望（ ） 第2希望（ ） | | |

-----キリトリ-----

ITC-J 第44期年次大会申込書（ゲスト用）

| | | | | |
|-----------|---------|-----------------|--------|---------|
| 紹介会員名： | | （フリガナ） ゲスト名： | | |
| | 月 日 | ○印 | 金額（円） | 申込金額（円） |
| 出席日及び登録費 | 7月8日（水） | | 3,000 | |
| | 7月9日（木） | | | |
| 昼 食 費 | 7月8日（水） | | 2,500 | |
| | 7月9日（木） | | 2,500 | |
| 晩 餐 会 費 | 7月8日（水） | | 13,000 | |
| 晩餐会ゲストと相席 | 希 望 | | 申込合計金額 | |
| 教育セッション | | 第1希望（ ） 第2希望（ ） | | |

-----キリトリ-----

ITC-J 第44期年次大会
会員用申込書

キリトリ

ITC-J 第44期年次大会
ゲスト用申込書

キリトリ

編集後記

少人数クラブや委員会でのおしゃべりや小さな気づきにすぎなかったものが、多くの人々の心に触れ、静かに確実に広がっていると感じています。明日へ向かう確かな流れが生まれつつあることを皆様と共有出来れば幸いです。

発行にあたり、原稿依頼にご協力いただきましてありがとうございました。

編集者：鵜山紀子 編集スタッフ：播磨由美子 上西弥生 松崎智子

ITC-J 宣誓

我々、インタラクティブトレーニングインコミュニケーション
ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニ
ケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

ITC-J Pledge

We, as members of Interactive Training in Communication-Japan,
hereby pledge to improve our communication and leadership skills,
in order to achieve greater understanding throughout the world.

ITC-J 声明文

ITC-J の使命は、ITC-J の目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術
を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた成熟した社会人を
養成し社会に貢献することにある。

Mission Statement of ITC-J

The mission of ITC-J is to present the members opportunities for quality
training in communication and leadership skills which are the purposes of
Interactive Training in Communication-Japan and benefit the society by
providing mature individuals.